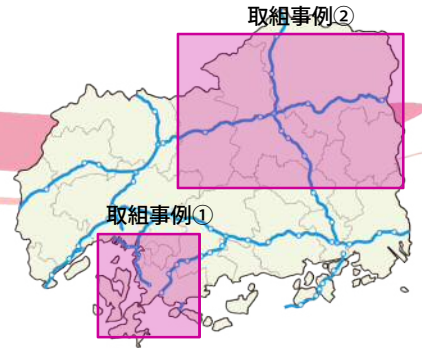


取組事例
施策 1

県土強靱化のための 道路ネットワークの強化



取組事例①

呉市における防災・減災に資する道路整備

第一次緊急輸送道路の機能強化を図り、
発災時にも迅速・適切な初動体制を
確保します。

呉市中心部と周辺市町等をつなぐ
多重型道路ネットワークの機能を強化し、
発災時における影響を最小限に抑えます。



広島市と呉市、江田島市を連絡する緊急輸送道路の機能強化や、最寄りの災害拠点病院への救急搬送ルートの機能強化を図ります。

災害等により幹線道路が通行止めとなった際にも代替ルートが確保されるよう（主）呉平谷線等の道路整備を推進します。



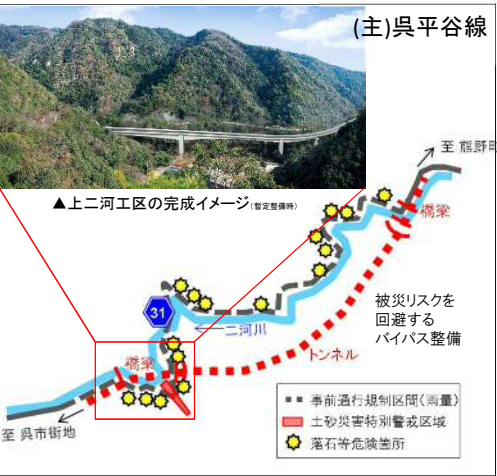
4車線化により期待される効果

災害時には片側交互通行や対面通行を行うことにより、通行止め時間の短縮が可能となり、発災時における早期の交通確保が可能となる。また、交通容量の拡大による時間短縮や定時性の向上などにより、観光振興や地域経済、地域社会を支える幹線道路としての機能向上が期待される。

片側交互通行イメージ

山側道(高層～西条)

発災



取組事例①の主な事業箇所概要

路線名	概要
広島呉道路 (坂北～呉)	4車線化 (L=約12.2km)
(主) 呉平谷線 (呉市上二河～此原)	L=約2.4km, W=6.0 (7.0) m (暫定2車線)

W=車道幅員 (歩道等を含む全幅員)



広島県北部地域において、広域的な災害発生時における救助活動や緊急輸送のための道路ネットワークを確保するため、道路改良事業や法面対策を行い、災害に強い県土づくりに努めます。

東広島高田道路は、広域的な連携強化を図る高規格道路であり、安芸高田市向原町～吉田町においてバイパス整備を推進します。

国道375号は、広島県と島根県を結ぶ重要な幹線道路で緊急輸送道路に指定されており、三次市日下町引宇根等において、幅員狭小線形不良区間の解消のため道路改良や法面対策を推進します。

国道314号や国道432号は、広島県と島根県を結ぶ重要な幹線道路で緊急輸送道路に指定されており、

庄原市西城町熊野等において、落石等による災害から安全を確保するため法面対策を推進します。

(主)吉舎油木線は、地域間を結ぶ重要な幹線道路で緊急輸送道路に指定されており、神石高原町の長者原トンネルにおいて、幅員狭小区間解消のため、道路改良を推進します。



A (国)375号 (日下～引宇根)

B (主)吉田豊栄線 (東広島高田道路)

C (主)吉舎油木線 (長者原)



整備前



整備後



(仮)吉田ICの整備状況 (R2.6撮影)



現道の状況

W=車道幅員 (歩道等を含む全幅員)

取組事例②の主な事業箇所概要

路線名	概要
(国) 375号 (日下～引宇根)	L=約4.1km W=6.0 (9.75) m
(主) 吉田豊栄線 (東広島高田道路)	L=約4.5km, W=7.0 (12.0) m
(主) 吉舎油木線 (長者原)	L=約0.8km, W=5.5 (7.0) m